



Bank of Japan

アジア、ラテンアメリカ、カリブ海地域 における中央銀行協力の未来

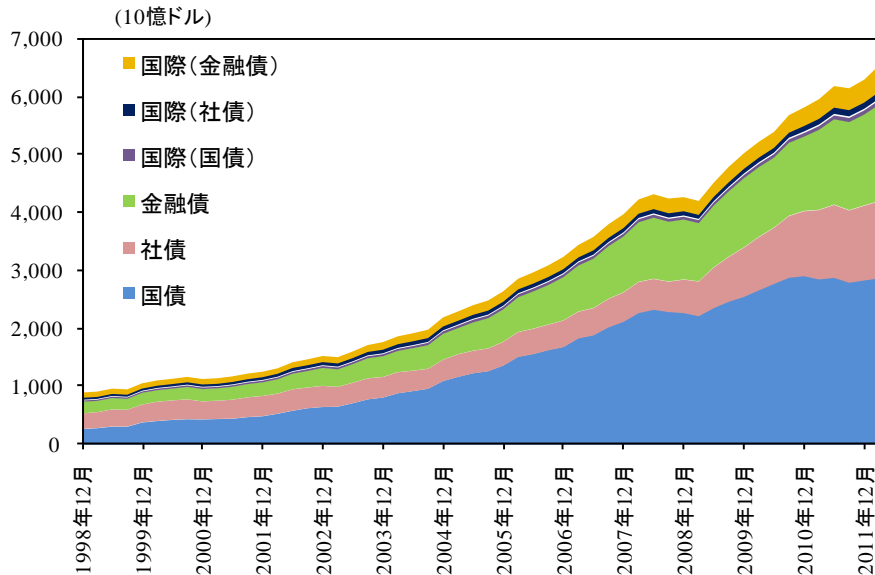
日本銀行副総裁
西村清彦

(図表1) 債券市場の発展

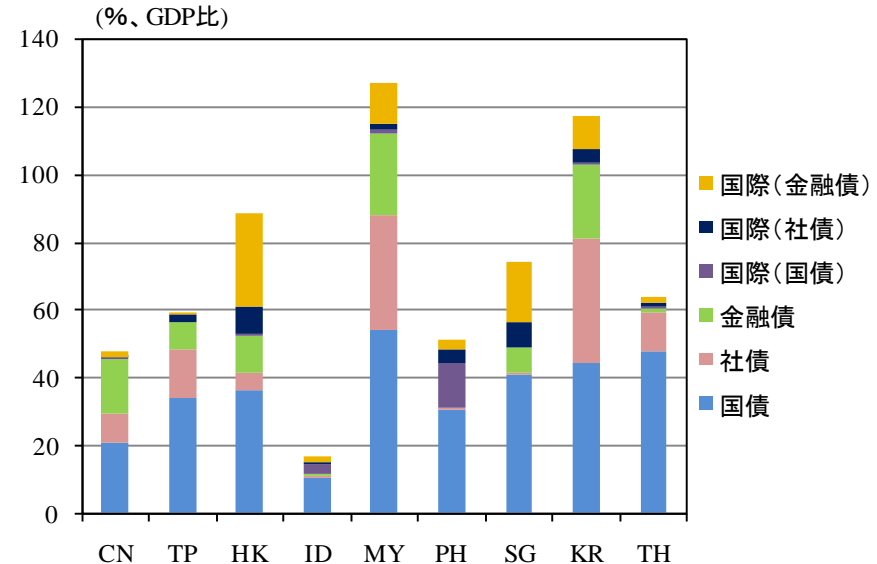
- 市場規模は国債を中心に拡大。08年以降は、社債・金融債も相応に規模を拡大してきている。

債券市場の規模

アジア(除く日本)



地域別比較(2011年)



注1: アジアは、中国(CN)、台湾(TP)、香港(HK)、インドネシア(ID)、マレーシア(MY)、フィリピン(PH)、シンガポール(SG)、韓国(KR)、タイ(TH)の合計。

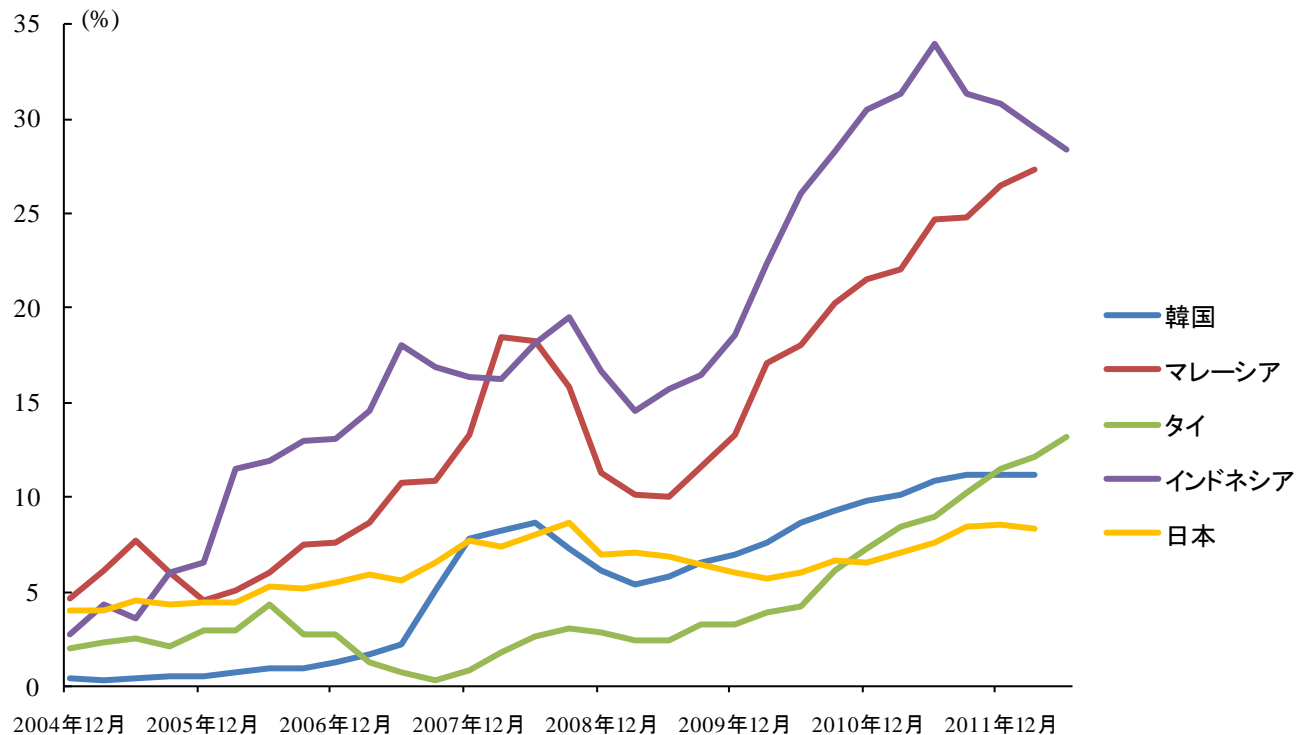
注2: 国債・社債・金融債は、居住者発行の現地通貨建てのもの。

国際債(オフショア)は、居住者発行の外貨建て債と非居住者発行の債券(現地通貨建て、外貨建て)の合計。

出所: IMF, BIS.

(図表2) 海外投資家による保有比率

- 海外投資家による現地通貨建て国債の保有比率は、足許右肩上がりで推移



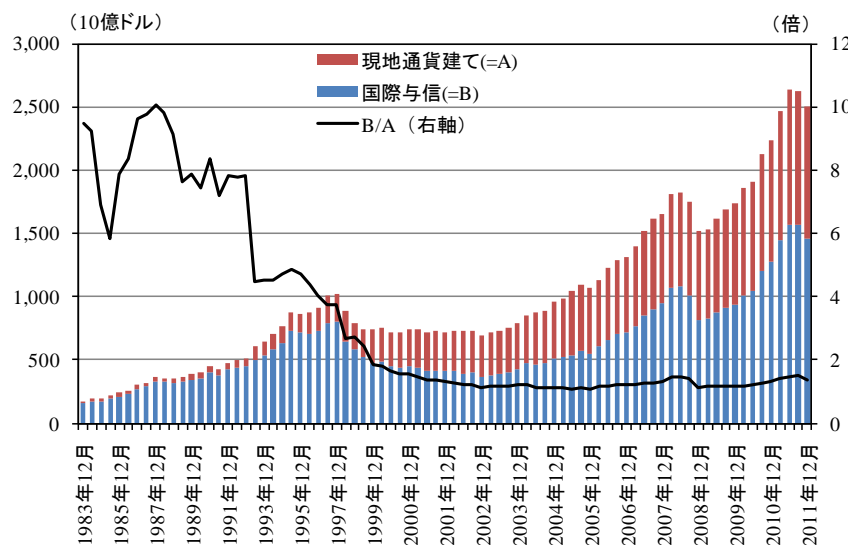
注: 海外投資家による現地通貨建て国債の保有比率は、それぞれの市場における現地通貨建て国債発行高に対する比率。
出所: ADB.

(図表3) ダブルミスマッチ

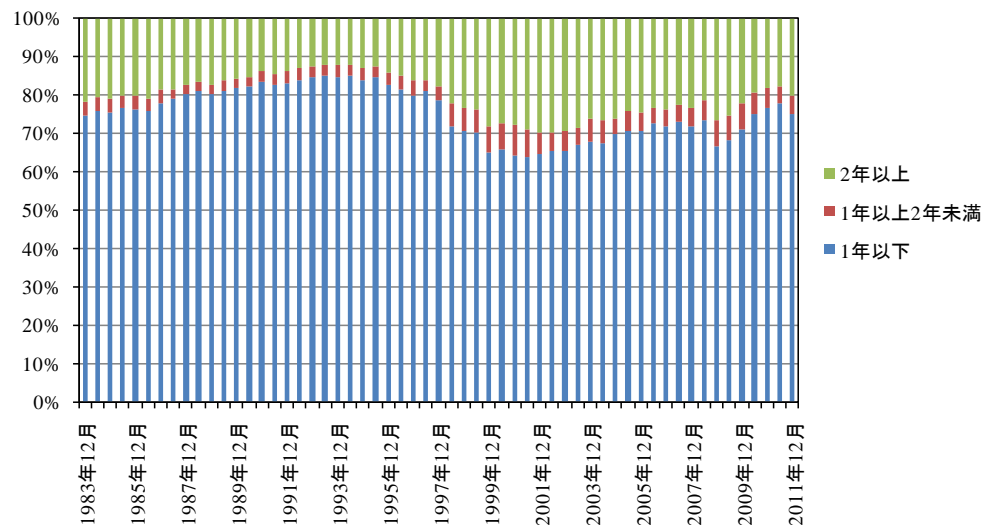
- ダブルミスマッチのうち、通貨のミスマッチは緩和傾向。期間別では、依然として短期の比率が高い。

外国銀行から居住者に対する現地通貨建て与信、国際与信残高

残高推移



国際与信における期間別残高の比率



注1: 現地通貨建て与信は、外国銀行の現法・支店から居住者に対する現地通貨建て与信。国際与信は、非居住外国銀行から居住者に対する与信(主に外貨建て)および現法・支店からの外貨建て与信を指す。

注2: 残高は中国、香港、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンの合計。93年～99年は半年毎、それ以降は四半期毎のデータ。

出所: BIS Consolidated Banking Statistics.